



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月8日

上場会社名 株式会社 ニレコ 上場取引所 東
 コード番号 6863 URL <https://www.nireco.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 寿治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 碓 光司 TEL 042-642-3111
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,770	△4.6	54	—	82	492.3	54	—
2022年3月期第1四半期	1,856	9.3	△15	—	13	△86.9	△12	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 90百万円(△20.5%) 2022年3月期第1四半期 113百万円(△14.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	7.44	7.33
2022年3月期第1四半期	△1.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	16,107	13,778	13,778	13,778	85.0
2022年3月期	16,152	13,850	13,850	13,850	85.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 13,683百万円 2022年3月期 13,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	14.00	—	24.00	38.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	18.00	—	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	4.5	150	△40.9	180	△38.6	120	△34.2	16.37
通期	9,200	13.3	800	41.9	860	32.3	600	47.7	81.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	8,305,249株	2022年3月期	8,305,249株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	975,637株	2022年3月期	975,637株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	7,329,612株	2022年3月期1Q	7,329,689株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国を含めた世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢や中国におけるロックダウンなどによるエネルギー価格の高騰や需要の減少、それらに続く世界主要各国の政策金利引き上げなどから先行き不透明感の強い状況が続きました。

当社グループ(当社及び連結子会社)の主要取引先である鉄鋼、電子部品、化学、半導体、印刷・紙加工、食品など各メーカーの設備投資は、業種により強弱はあるものの一定の回復基調が続きましたが、一方で半導体をはじめとするサプライチェーンの混乱長期化による影響を受けました。

このような状況の下、当社グループはいかなる環境下においても成長できる企業グループの実現を目指し、当社グループのコア技術である画像処理、センシング及び光学技術の強化を進めるとともに、部材調達適正化による製品出荷への影響回避に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,770百万円(前年同期比4.6%減)、営業利益54百万円(前年同期は営業損失15百万円)、経常利益82百万円(前年同期比492.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益54百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円)となりました。

また、受注残高は5,387百万円(前期末比23.1%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①プロセス事業

当事業においては、鉄鋼メーカーの設備投資意欲は引き続き回復の動きが見られるものの、期初時点の受注残高が低水準であったことや、サプライチェーンの混乱に伴う製品納期の遅れが生じたことなどから、売上高は前年同期比で減少しました。利益面においては、収益性の高い製品の割合が高かったことにより前年同期比で増加しました。

その結果、当事業の売上高は410百万円(前年同期比14.0%減)、セグメント利益は22百万円(前年同期はセグメント損失0百万円)となりました。また、受注残高は1,407百万円(前期末比18.4%増)となりました。

②ウェブ事業

当事業においては、二次電池製造装置業界向けなどを中心に主力製品である耳端位置制御装置の受注高は好調を維持しているものの、サプライチェーンの混乱による制約により受注から出荷までの期間が長期化したことから、売上高が前年同期比で減少しました。利益面においては、収益改善努力が奏功したことにより利益率は改善しましたが売上高の減少が影響し前年を下回りました。

その結果、当事業の売上高は544百万円(前年同期比16.5%減)、セグメント利益は44百万円(前年同期比0.2%減)となりました。また、受注残高は1,732百万円(前期末比29.7%増)となりました。

③検査機事業

当事業においては、無地検査装置および選果設備向けなどの食品検査装置とともに、顧客の設備投資意欲が回復に向かっており受注高は前年同期を上回ったものの、製品納入の長期化などの影響から売上高・利益は前年同期比で減少しました。

その結果、当事業の売上高は242百万円(前年同期比38.8%減)、セグメント損失は52百万円(前年同期はセグメント損失10百万円)となりました。また、受注残高は1,007百万円(前期末比47.2%増)となりました。

④オプティクス事業

半導体市場における強い設備投資意欲が続いたことにより、半導体検査装置向けの光学部品などの販売が海外向けを含め堅調に推移いたしました。また、当四半期連結会計期間においては、一部製品の生産増により稼働が高まったことなどから利益率が向上しました。

その結果、当事業の売上高は435百万円(前年同期比34.9%増)、セグメント利益は169百万円(前年同期比146.5%増)となりました。また、受注残高は976百万円(前期末比3.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結累計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて45百万円減少して16,107百万円となりました。

これは主に仕掛品の増加225百万円による資産の増加があったものの、一方で受取手形、売掛金及び契約資産の減少160百万円、電子記録債権の減少144百万円による資産の減少があったことによります。

(負債)

当第1四半期連結累計期間末の負債は前連結会計年度末に比べて26百万円増加して2,328百万円となりました。

これは主に支払手形及び買掛金の減少169百万円による負債の減少があったものの、一方で契約負債の増加123百万円、未払費用の増加105百万円による負債の増加があったことによります。

（純資産）

当第1四半期連結累計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて72百万円減少して13,778百万円となりました。

これは主に為替換算調整勘定の増加44百万円による純資産の増加があったものの、一方で利益剰余金の減少121百万円による純資産の減少があったことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期および通期の連結業績予想につきましては、現状の受注残高の状況等を鑑み、前回公表（2022年5月13日発表）の予想から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,834,318	4,819,617
受取手形、売掛金及び契約資産	2,656,592	2,496,304
電子記録債権	758,857	614,356
商品及び製品	1,052,404	1,071,117
仕掛品	752,947	978,387
原材料及び貯蔵品	702,013	781,851
その他	140,678	178,194
貸倒引当金	△3,689	△2,484
流動資産合計	10,894,124	10,937,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,626,267	1,605,115
機械装置及び運搬具(純額)	168,365	160,352
工具、器具及び備品(純額)	148,251	139,884
土地	1,361,740	1,363,435
建設仮勘定	—	38
有形固定資産合計	3,304,625	3,268,826
無形固定資産		
のれん	80,995	76,231
リース資産	19,482	18,027
その他	158,076	156,081
無形固定資産合計	258,554	250,340
投資その他の資産		
投資有価証券	1,402,373	1,408,196
長期貸付金	52,085	50,294
繰延税金資産	40,224	33,038
破産更生債権等	18,704	18,704
その他	242,555	202,235
貸倒引当金	△60,727	△61,850
投資その他の資産合計	1,695,217	1,650,619
固定資産合計	5,258,397	5,169,787
資産合計	16,152,521	16,107,132

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	610,745	441,673
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	63,771	61,278
リース債務	5,938	5,957
未払費用	397,133	502,393
未払法人税等	152,564	64,554
未払消費税等	36,519	54,414
契約負債	225,867	349,707
役員賞与引当金	19,500	4,875
工事損失引当金	35,651	41,599
その他	120,823	189,466
流動負債合計	1,768,515	1,815,920
固定負債		
長期借入金	220,216	205,206
リース債務	14,263	12,766
長期未払金	18,761	9,841
繰延税金負債	121,156	132,214
役員退職慰労引当金	102,903	98,675
退職給付に係る負債	55,749	53,743
固定負債合計	533,050	512,448
負債合計	2,301,565	2,328,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,120,511	4,120,511
利益剰余金	6,656,381	6,535,021
自己株式	△684,688	△684,688
株主資本合計	13,164,556	13,043,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	433,418	440,007
為替換算調整勘定	148,491	193,442
退職給付に係る調整累計額	21,041	6,759
その他の包括利益累計額合計	602,952	640,209
新株予約権	73,699	87,022
非支配株主持分	9,746	8,334
純資産合計	13,850,955	13,778,763
負債純資産合計	16,152,521	16,107,132

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,856,253	1,770,223
売上原価	1,285,246	1,118,745
売上総利益	571,006	651,478
販売費及び一般管理費	586,270	596,730
営業利益又は営業損失(△)	△15,263	54,748
営業外収益		
受取利息	2,048	2,602
受取配当金	21,145	22,316
その他	7,011	7,505
営業外収益合計	30,205	32,425
営業外費用		
支払利息	575	1,048
保険解約損	—	2,490
その他	422	1,036
営業外費用合計	997	4,574
経常利益	13,944	82,598
税金等調整前四半期純利益	13,944	82,598
法人税等	27,234	29,788
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,289	52,810
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△664	△1,740
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,625	54,551

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,289	52,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,433	6,588
為替換算調整勘定	42,566	45,279
退職給付に係る調整額	37	△14,282
その他の包括利益合計	127,037	37,586
四半期包括利益	113,747	90,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,124	91,808
非支配株主に係る四半期包括利益	△377	△1,411

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。この変更による当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	オプティ クス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	476,955	652,302	397,012	323,127	1,849,396	6,857	1,856,253	—	1,856,253
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	476,955	652,302	397,012	323,127	1,849,396	6,857	1,856,253	—	1,856,253
セグメント利益又は損失(△)	△629	44,779	△10,988	68,899	102,061	△82	101,979	△117,242	△15,263

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△117,242千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、2021年6月10日付で西武電機株式会社の全株式を取得しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は92,884千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	オプティ クス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	410,040	544,590	242,793	435,907	1,633,330	136,893	1,770,223	—	1,770,223
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	410,040	544,590	242,793	435,907	1,633,330	136,893	1,770,223	—	1,770,223
セグメント利益又は損失(△)	22,933	44,707	△52,061	169,807	185,386	2,103	187,489	△132,741	54,748

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△132,741千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。